

水環境ニュース



1



2



3



4



5



6



7



8

1 「希望の華」(福島市)阿武隈川フォトコンテスト2018入賞作品

2 「御田植祭」(会津美里町)

3 「朝霧の色に染められて」(檜原湖)第15回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

4 「夏井川溪谷紅葉」(いわき市)

5 「猪苗代湖と磐梯山」(猪苗代町)

6 水の体験モデルツアー(いわき市)

7 「阿武隈川を渡る提灯神輿」(白河市)阿武隈川フォトコンテスト2018入賞作品

8 西の郷遊歩道(西郷村)

「水環境ニュース」では、県内各地で取り組まれている水環境活動など、水環境に関する情報を発信していきます。

特集

大学生等と創る水環境活動
～地域を知って・見て・体験して、繋がり、貢献する～

その他のLINE UP

- 福島県における水環境活動支援事業(福島県水環境活動団体交流会、「水との共生」出前講座)
- 「水について考える」(第40回「全日本中学生水の作文福島県コンクール」実施報告)
- 水資源探訪 ～わがまちのおすすめスポット～ 「霧幻峡の渡し(金山町)」

福島県内に在学する大学生・短期大学生を対象とした 「緑の水源地再生チャレンジ」を開催しました！

平成30年11月4日（日）西郷村に位置する旧白河高原スキー場、堀川ダム（上流部）において、県内に在学する大学生が福島県内の水に関する地域の課題を「知って、見て、体験する」ことで、地域との繋がりを築き、地域活動に参加していくことを目的とした体験型イベントを開催しました。

当日は福島大学及び郡山女子大学の学生・教員計25名が地域で活動されている団体の皆さんとともに水環境活動を行いました。

今後も、大学生等の若い世代の水環境活動への参画に向けた取組を進めていくこととしています。

■赤面山の植林活動

白河高原スキー場跡地の植生回復を目的に、西郷村、環境省とともに植林活動を行っている「赤面山を緑にする会」金沢事務局長より活動概要をご説明いただいたのち、苗木、スコップ等を手に植林場所まで軽登山を行い、約80株の苗木を植えました。



（金沢事務局長の指導のもと植林する学生）

■ウチダザリガニ駆除活動

堀川ダム上流部において、ウチダザリガニ（特定外来生物）を発見した5年前より、福島大学、西郷村、環境省とともに駆除活動を実施している「西郷くらしの会」大越会長より活動概要をご説明いただいたのち、罾の回収、雄雌分別等の駆除体験を行いました。（雄237匹、雌5匹）



（駆除活動を体験する学生）

■参加者の感想



- 普通の生活では体験できないことを経験できた。
 - 地域の課題を考えるきっかけになった。
 - 地域の良さを知ることができた。
- などの意見をいただきました。

《大学生等による水環境活動支援組織のご紹介》

「緑の水源地再生チャレンジ」での体験をとおして、この取組の趣旨に賛同してくれた4名と、今後、活動支援を進めていくこととなりましたのでご紹介します。

初期メンバーは4名とまだまだ少ない状況ですが、活動を通して仲間を増やしていきたいです。

WIL（ウィル）

私達は県内の水環境団体の活動活性化のため、大学生によるボランティア団体「WIL（Water Is Lover）」を結成しました。

WILでは、平成31年度に大学生と水環境団体や行政が協力して水に関わるイベントを創出するために活動しています。この活動を通して県内の水環境について見識を深め、様々な水環境活動団体が実施するイベントにボランティアスタッフとして参加できる体制作りを整えて行きたいと考えています。



上下流連携事業

福島県土地・水調整課では、豊かな水環境の保全と健全な水循環の継承に向け、流域の上流と下流、または流域間における住民の皆様、水環境団体などの多くの主体の連携による水環境活動の活発化を図るため、上下流が一体となった環境学習や様々な主体の総合交流活動の支援を行っています。

福島県水環境活動団体交流会を開催しました！



平成30年6月23日（土）、24日（日）の2日間にかけて、ブナ原生林を源流とする清流伊南川が流れる南会津方部において、福島県水環境活動団体交流会と福島県との共催による「平成30年度福島県水環境活動団体交流会 さらさら」を開催しました。

この交流会は、県内で川や水を通じた地域活動をされている団体が共に集い、情報交換、意見交換、問題の共有をしながら、ゆるやかに連携を図っていくことを目的に開催するもので、平成30年度は19団体、計57名の方に参加いただきました。

本年6月下旬にも交流会を開催する予定としておりますので、皆さんも参加してみたいかがでしょうか。

交流会の実施内容

(1) 川の授業 「伊南川流域における戊辰戦争」
講師：渡部康人氏（南会津博物館研究員）

(2) 活動事例発表

- ① 伊南川げんき会
- ② 伊南川プロムナード構想研究会
- ③ 阿賀川川の達人の会
- ④ 夏井川流域の会



(交流会参加者)

(3) 意見交換

(4) 現地視察

- ① 高清水自然公園
(ひめさゆり群生地)
- ② 伊南川の水環境
(蛇岩 など)



(ひめさゆり群生地)

「水との共生」出前講座

【ホームページの検索は】

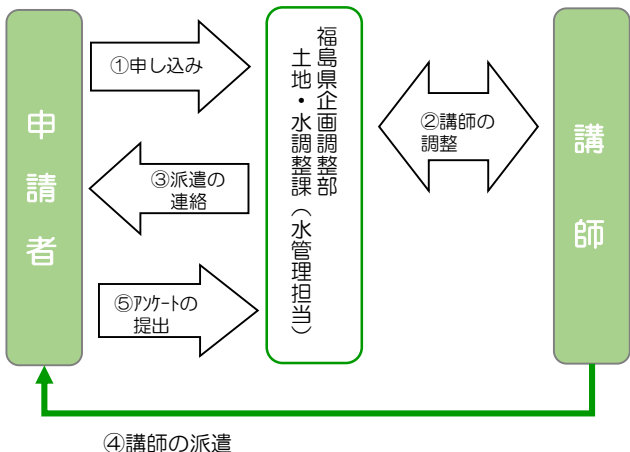
福島 水 出前講座

検索

福島県土地・水調整課では、県内の川や湖の水環境保全活動などに取り組んでいる皆さんを支援するため、学習したい内容や活動の悩み解決などの要望に応じて、集会や勉強会などに講師を派遣しています。

平成30年度に、各団体等で開催された出前講座の一部を紹介します。本年4月以降も引き続き募集を行いますので、講師の派遣を希望される団体の方は、土地・水調整課までご連絡ください。

「水との共生」出前講座の流れ



■水生生物調査

主催者：いわき市立川部小学校
講師：鮫川流域ネットワーク交流会
蛭田幸弘氏

川部小学校4年生の13名が地域の水環境を学ぶため、四時川において水生生物採取と簡易水質検査を行いました。

■勉強会

主催者：広瀬川の自然環境を考える会
講師：福島県農業総合センター
浜地域研究所 三田村敏正氏

伊達市梁川中央交流館を会場に「身近にいる外来生物」について講話を行いました。団体会員や地域の方、60名が参加されました。



「水について考える」

全日本中学生水の作文福島県コンクール

本県には猪苗代湖や裏磐梯湖沼群をはじめ豊かで美しい水環境が各地にあります。この昔から受け継がれてきた地域の宝を守り、後世に伝えていくことが重要です。

県では水に対する関心を高め、一層の理解を深めていただくことを目的に、八月一日から八月七日の「水の週間」の行事の一環として、「全日本中学生水の作文福島県コンクール」を毎年実施しています。

四十回目を迎えた今年度は、県内の中学校から五百三十八編と

いう多数のご応募をいただき、県の審査会において、十五名の入賞者を決定いたしました。



第40回「全日本中学生水の作文福島県コンクール」入賞者の皆さん（H30.8.7 杉妻会館にて）



20 × 20

福島県土地・水調整課のホームページに入賞作品集を掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

今回の応募作品を通して、中学生の皆さんが震災による体験や日常生活を通して感じた貴重な「水」について、より深く学び姿勢や、歴史を通して水に関して多くの発見があったこと、さらには郷土を愛する心が皆さん一人一人にしっかりと育まれていることが伝わって参りました。

【優秀賞 5名】

福島県立会津学鳳中学校	1年	今村 真生
福島市立立子山中学校	3年	加藤 杏優
福島市立渡利中学校	2年	高野 伊吹
矢吹町立矢吹中学校	3年	二瓶 紗英
天栄村立天栄中学校	1年	丸山 奈々

【入選 3名】

会津若松市立湊中学校	2年	小坂 真人
福島県立会津学鳳中学校	1年	鈴木 琳花
福島市立立子山中学校	2年	寺島 貴大

【佳作 7名】

天栄村立天栄中学校	1年	有馬 純奈
矢吹町立矢吹中学校	3年	黒田 陽生
福島市立立子山中学校	3年	佐藤 恵里奈
福島県立会津学鳳中学校	1年	佐藤 美心
福島県立会津学鳳中学校	1年	芳賀 あかり
矢吹町立矢吹中学校	3年	矢吹 翔汰
会津若松市立一箕中学校	3年	山口 愛佳

【ホームページの検索は】

福島 水の作文

検索

2019年度も第41回「全日本中学生水の作文福島県コンクール」を実施しています。中学生の皆さんからの応募をお待ちしています。〔応募締切：2019年5月10日（金）土地・水調整課まで〕

水資源探訪 ～わがまちのおすすめスポット～

霧幻峡の渡し（金山町）



川霧の中をゆったりと進む手漕ぎの船。時間を忘れて過ごすことが出来る、そんなスポットが金山町にあります。霧幻峡の渡しとは、かつて金山町三更地区で行われていた渡し船の文化を現代に蘇らせた、新たな観光地です。川霧が多く発生する只見川の特徴を活かし、「霧幻峡」と称されるこのエリアは、近年国内外から注目を浴びております。

川霧が発生しやすい時期は6月～8月の早朝と夕方。冷たい川の水にあたたかい空気が触れることで川霧が発生します。渓谷の川霧に漂う和船はとても幻想的です。

夏の新たな観光スポットとして、一度訪れてみては如何でしょうか。

【問い合わせ先】金山町観光物産協会
電話0241(42)7211

